

## グラスファイバー入り 5 層 PP-R パイプ用オーダーメイド特注システム

ヨーロッパで設立された加工業者ポロプラスト社はクラウスマッファイ・ベルストルフ社の協力により特別なソリューションを導入

<2018年3月26日ミュンヘン>

クラウスマッファイ・ベルストルフ社は、主要樹脂パイプの製造メーカーのポロプラスト社は長年の顧客であり、同社との密接な協力の下、グラスファイバー補強 5 層 PP-R パイプ製造の特注システムを開発しました。

このシステムは昨年 11 月バイエルン州エベンホフェンにあるポロプラスト工場に於いて順調に試作を立ち上げ、飲料水や空調システム用のパイプ (Φ32~250 mm) の製造承認も受けました。

### カスタムソリューションの共同開発

「様々な試験を行い、幅広い協力会社の力を借りながら難しい開発に挑む中で、我々にとって最終的にクラウスマッファイ・ベルストルフ社が最も大きな力となりました。」と、ポロプラストの製造責任者デヴィッド・ゾヴキッチ氏は話します。

「卓越したプロジェクト管理や製造技術に関する優れた専門知識に加え、パイプヘッドコンセプトが、我々の材料配合と品質に対する高い基準を満たしていました。」と、ゾヴキッチ氏は続けます。

材料配合と PP-R のレイヤー構造の両方が革新的です。当然、承認の条件は厳しいものでした。

「我々はクラウスマッファイ・ベルストルフ社と開発プロジェクトを共に進めて来られたことに感謝するとともに、飲料水と空調システム用に使用する高品質の樹脂パイプの製造基盤ができたことをたいへん嬉しく思っています。」と、ゾヴキッチ氏は締めくくりました。

### 材料と肉厚層への特別な要求に応える、独自の最新スパイラル芯金コンセプト

多層システムにおいてはクラウスマッファイ・ベルストルフ社は豊富な知見を持っている中で、ポロプラスト社の開発プロジェクトは他にはない全く新しいものでした。「それぞれのレイヤーの肉厚が基準を満たすよう、スパイラル芯金システム設計を一から見直しました。」と、クラウスマッファイ・ベルストルフ社ミュンヘンのゼネラルセールスマネージャー、アンドレアス・ケスラー氏は話します。押出機とパイプヘッドの組み合わせにより省スペース化を図るべく設計されました。

PP-R 中間層を作る KM-5L RKW 94-250 パイプヘッドの特徴を持つ KME 45-30 B/R 主要押出機は、同シリーズ 4 台の共押出機を半周ずつ取り囲むように配置され、KME-20-25 B/R はストライ

プを施します。このセットアップによりマシンオペレーターはセンターポジションからの制御とモニタリングが可能となりました。加えて、パイプヘッドには厚肉パイプの正確なヒートバランスを可能にするエネルギー効率の良い IPC（内部パイプ冷却システム）が装着されています。この補強グラスファイバーPP-R パイプは、伸びと曲がりに対し優れた特性を持っています。そのため従来のパイプに比べ強度が数倍上がり、設置に際し優位性が生まれました。特に公共の建築物などのつり天井内への設置では数多くの実績があります。

### **革新的な樹脂パイプの著名なプロバイダー**

ポロプラスト社は、樹脂パイプや合成・ポリマー工学分野で革新的な製品を送り出しています。60年に渡る会社の歩みを通して、ポロプラスト社はプラスチックの主要スペシャリストの一翼を担うトップ企業へと成長しました。

Wietersdorfer グループ傘下のポロプラスト社は、現在 Ebenhofen（バイエルン州）と Leonding（オーストリア北部）の2か所に生産拠点があります。

より詳しい情報は下記サイトをご覧ください。

[www.poloplast.com](http://www.poloplast.com)

[www.wietersdorfer.com](http://www.wietersdorfer.com)